



鶴の便り

夕鶴の里資料館報

平成29年10月20日

第 82号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

民話まつり

が回十月一日(日)に第十八
 が行われ「民話まつり」
 今年度は、元民話会ゆう
 づる長沢登山さんと、ゲ
 ストに山形市代さん、野
 をお迎えし、盛大に開催さ
 れました。夕鶴の里でイ
 バ最初対応のため、作
 し「鶴の恩返し」の字
 付きた映像の上映をいまし
 た。続けて、「長沢登山さん
 よる語りは、白竜湖の琴
 音が披露されました。四
 りが「さくら」の池野さん
 り「グスタフ」の思い話など
 を交え、「まこちゃん」の



んと昔」の語りに聴き入り、昔懐かしい気持ちに浸ることが出来ました。笑いと感動のひと時をありがとうございました。

子どもまつり

九月二十四日(日)午前
 十時三十分より夕鶴の里語
 り部ホールにて、夕鶴の里
 友の会主催の「第十九回
 子どもまつり」が開催され
 ました。

今年度は、去年に引き続き
 ゲストに「東北文教大学児
 童文化部」の学生を迎えて
 人形劇を見て、ダンスや手
 遊びで学生さんと一緒に遊
 び楽しい時間を過ごしまし
 ました。

一歳の子から、小学生ま
 で、自分のペースで思い
 思いに体を動かしリズムに
 乗って楽しく参加していま
 した。
 公演が終わると、出演者
 が人形劇の人形と一緒に入
 場者をお見送りしてくれま
 した。
 同日、各地でイベントが
 行われていましたが、多く
 の方に足を運んで頂き、活
 気があり、大変盛り上がり
 ました。



お人形と学生さん。遊びに来てくれたお友達。みんなありがとう。



カラフルなパネルが動いて、何になるのかなあ？ワクワク！一緒にダンスもしたよ！

マフラー展示

十月十七日（火）より十月三十一日（火）までの期間、夕鶴の里語り部の館を会場にオリジナルマフラー展を開催中です。

二十九年度、染め織講習会受講生の作品三十一点を展示しております。

どの作品も温かみのある優しい印象の素敵なマフラーです。

ぜひ、見にご来館くださいませ。



受講生の皆さん。
4か月間お疲れ様でした！

かいこかみ 蚕神

別名「オシラ神（講）」。

蚕が唯一の現金収入であった農村部では、蚕の出来で生計を左右されるため、蚕の病気や天候を心配しながら人々は生活していた。そこで神の加護を求める心情から生まれたのがこの信仰である。養蚕安全を祈願して、定められた日に講の当番の家に議員が集まり、掛軸を掛け、お神酒、松明をあげ祈願した。

南陽市のうち、吉野、金山、中川などの白鷹山寄りの地区は、江戸時代末頃から養蚕の盛んな所であったことから、蚕神を祀るために蚕を飼う家のほとんどの主婦がこの講に加わっていた。養蚕の仕事は、その家の女衆が行うことから、この講には女性が参加する。

オシラ神は養蚕農家個々にまつる掛軸である。

オシラ神には像や厨子などはなく、ほとんど掛軸に描かれたものである。そして、養蚕の節目節目に祭壇にかけて祀られる。

オシラ様の日は、旧暦十月十六日と、旧暦二月十六日であり、オシラ様の掛け軸をかけ、十六だんごを供えてお参りした。

夕鶴の里特別展
「民間信仰」冊子より一部抜粋



夕鶴の里資料館には、オシラ様に関する絵馬も展示しておりますので、ぜひご覧ください。

◆夕鶴の里駐車場の入口に、公衆電話ボックスが新設されました



是非、ご利用ください

昔のあそび

◆十一月二十五日（土）午前十時より、夕鶴の里「昔のあそび」を開催します。

今回は、「まゆ玉でコサージュを作ろう！」です。

今年の六月に夕鶴の里で飼育した蚕から出来たまゆ玉を使って行います。



参加お待ちしております！